理解度がエグい！

鉄板パターンの倒し方

著者：ベーシスト FX 手法研究家 Kou

Copyright © 2021 ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

著作権について

・このレポートは著作権法で保護されている著作物になります。

・著作権はベーシスト FX 手法研究家 Kou に属します。このレポート

の開封によって以下の点に同意した事になります。ご注意下さい。

・あなたが、このレポートに含まれる情報を、著者の許可を得ずに出

版・メディア発信等で一般に公開することを禁止します。

特に当レポートを第三者に渡すことは厳しく禁止します。

・当レポートの情報は作成時の著者の見解です。著者は事前に断りな

く、情報の最新化、訂正を行う権利を有します。

・当レポートを利用し、生じた結果について損失が発生しても著者は

一切の責任を負いません。あらかじめご了承下さい。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

目次

0章　はじめに

1章　トレードで大切な要素とは？

①　-上位足の方向に沿っていること

②　-逆行しない可能性が高いこと

③　-損切り幅が小さいこと

2章　鉄板パターン＆解説

パターン①レジサポ転換

パターン②チャートパターン

パターン③レンジブレイク

パターン④中段持ち合い

パターン⑤トレンド転換

3章　鉄板パターンまとめ

4章　トレード精度を高める考え方

5章　全体のまとめ

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

0章　はじめに

トレードって実は難しくない。でも考え方は定まらない内は、

●毎日トレードできるはず

●それっぽい場所を探す

●出来上がったチャートを見て大きく動いた所を取る方法を探す

●全てのパターンを覚える

っていう事をやってしまいがちです。

でも毎回チャートの形は違うし、相場環境そのものも違う。

だから、覚えようとしてもうまく行く時と行かない時の違いが分からず、“やる事がブレブレ”になります。

勝てやすそうな形を覚えて、色んなパターン全てを覚えようとしても正直**無理**だし、

『覚える必要は全くありません！』

違う相場に見えているだけで、やっている事は同じです。

だからこそ、**考え方をきっちり理解**して下さいね。

トレードの解説をしている人の多くは、

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

出来上がったチャートに対して、

「移動平均線で反発しています。」

「水平線で反発しました。抜けました。」

「フィボナッチの◯◯%で反転しました。」

「ブレイクアウトです。」

「ダブルトップで反転しました。」

「このヒゲでトレンド転換しました。」

など、見たままの事を後付けで解説しています。

●移動平均線の反発と捉えた根拠は？

●ラインの反発、抜けと捉えた根拠は？

など、相場に対する一定の判断基準を持った上で、

“なぜ反転したと捉えるのか？”

“なぜ抜けたと捉えるのか？”

など、根拠の部分を固めないと右側が見えない相場に対して、トレードを組み立てられません。

１つ１つ理解しながら読み進めて下さいね。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

１章　トレードで大切な要素とは？

トレードで成績を安定させるために必ず意識しなければならない要素があります！！

その要素は

① 上位足の方向に沿っていること

② 逆行しない可能性が高いこと

③ 損切り幅が小さいこと

トレードはこの３つが**全て**満たせていないと、ただのギャンブルトレードになります。

僕たちトレーダーがすることは？お金を増やすことですよね？

じゃあ、

・毎日トレードしまくって勝ったり負けたり

・勝ちやすい相場で勝ちを重ねていく

あなたはどっちになりたいですか？

トレードする時は常に上記の３つの要素を意識して下さい！

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

下位足が上昇していても、上位足がまだ下なら、方向感が出にくく相場が荒れやすい環境になるし、

上位足の方向に沿っていても、損切り幅が広ければ、リワード（自分で決められないもの）を大きくしなければいけないし、勝率もめちゃくちゃ高くないと、損益率が悪くなってしまうし、

トレンドが続くと思っていても逆行する可能性の方が高いならトレードするのは危険です。

だからこそ、**常に３つを意識して①～③まで全ての要素の精度を高めること**でリスクを減らし、良いトレードができ、勝ちに繋がっていきます！！

勝てるパターンを全て覚えようとせずに、①～③までの要素を１つずつ覚えれば大丈夫。

出来そうじゃないですか？？

では、１つずつ見ていきましょう！

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

①上位足の方向に沿っていること

これはトレードの基本で、

●日足でゆったりトレードするなら、週足以上の方向に沿うよう

●4 時間足でトレードするなら、日足以上の方向に沿うように

●1 時間足でトレードするなら、４時間足以上の方向に沿うように

●15 分足でトレードするなら…

●5 分足でトレードするなら…

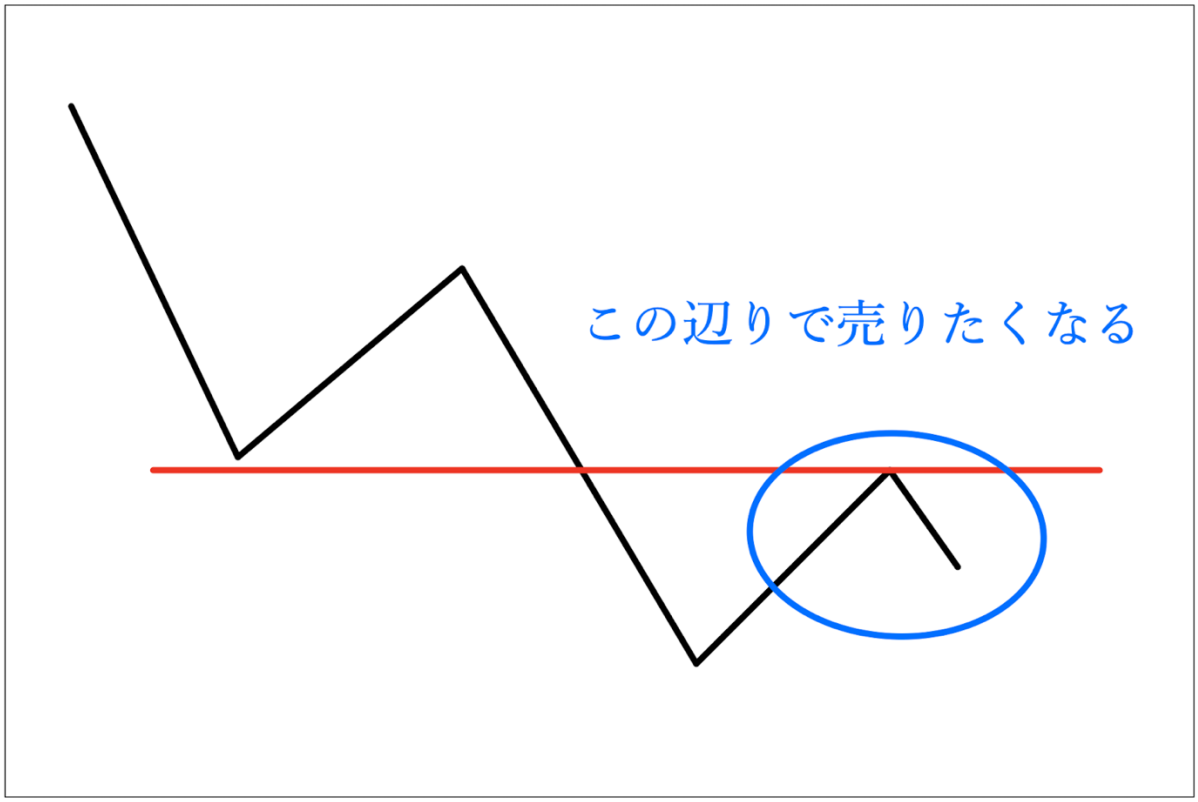
という風に、エントリーする時間足で買いたい状況の時、それよりも上の時間足が同じように買いたい！という状況ならリワードが大きくなる可能性が高くなります。

ざっくり説明すると、

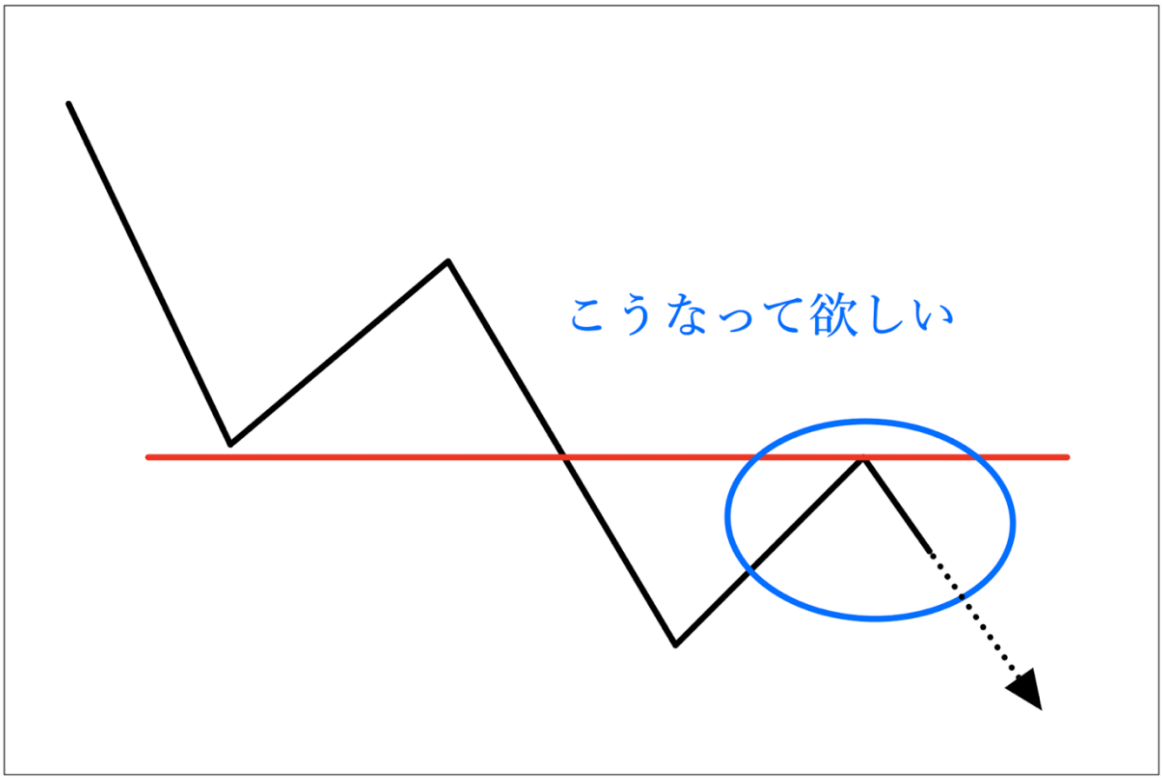
↓↓

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

これを１時間足として考えた時、レジサポ転換ライン付近で下へ向かう形が出ると売りたくなりますよね？

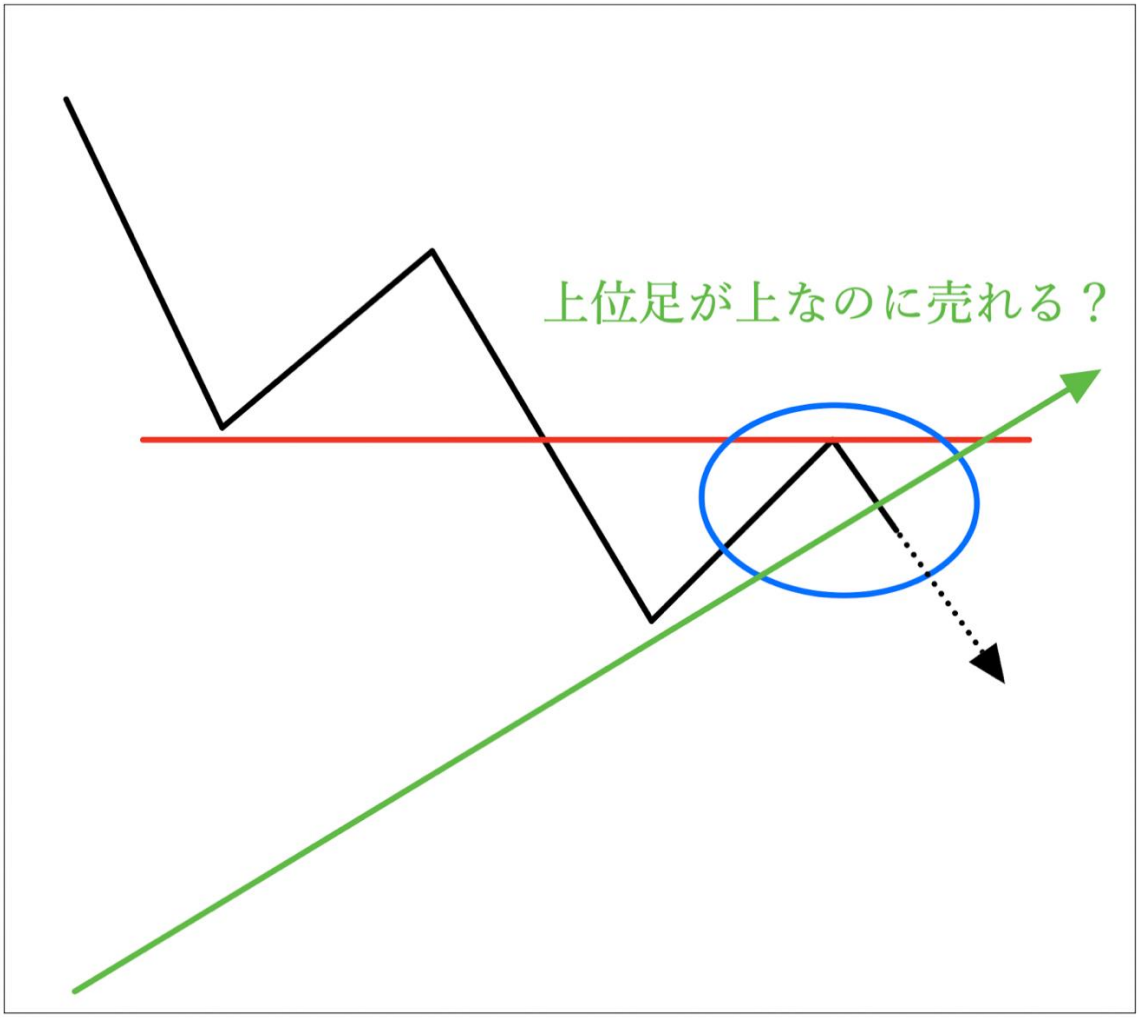


↓↓こんな風に下に動いて欲しいですよね？



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

↓↓じゃあ、4時間足が上へ向かっている環境なら？



4時間足でトレードする人たちからすると押し目買いを狙ってますよね？

1時間足が下。4時間足が上。なら1時間足から見て上位足には沿っていないので基本的にはトレードはしない方がいいです。

1時間足が下なら、4時間足も下を狙っている時じゃないとトレードしやすい環境ではない！という事を絶対に忘れないでくださいね。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

常に考えるのは、

上位足の人たちもトレードしたくなる状況か？

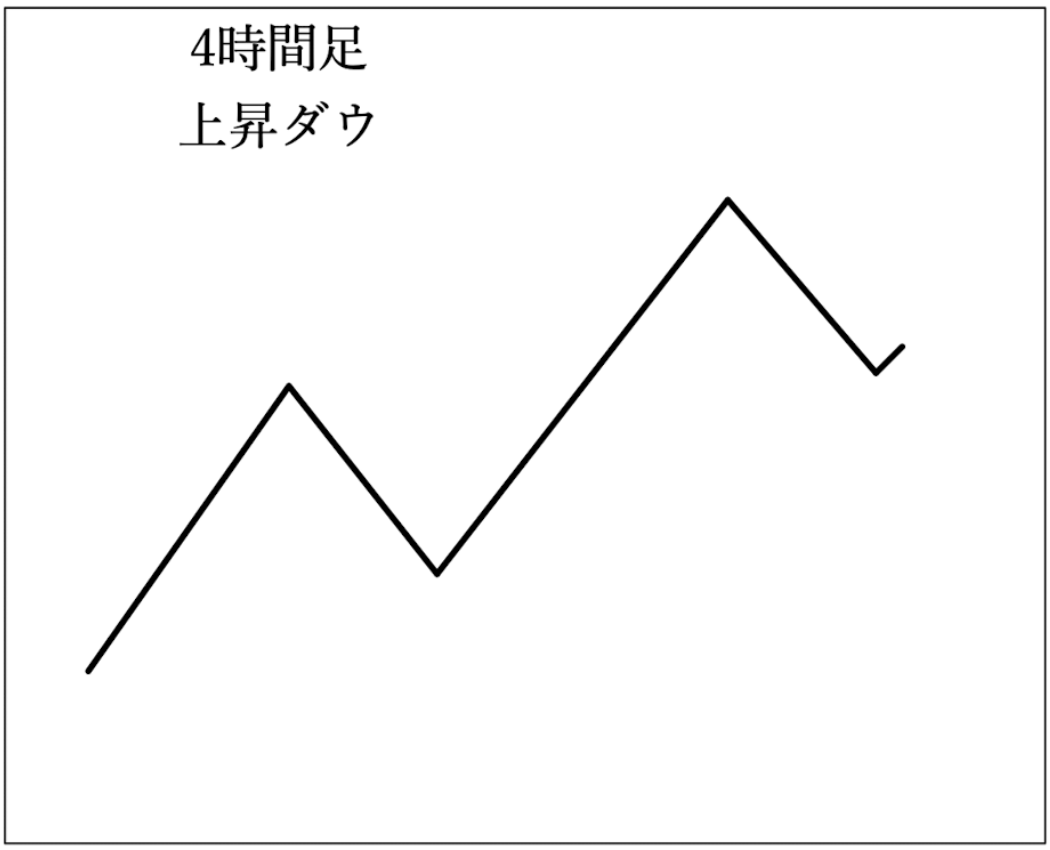
って事です。

どういうことかと言うと、

●トレンドの方向感が見えている

↓↓

4時間足など**大きな流れのダウ**が継続している。大きな流れが継続している限り、そう簡単に流れは変わらずリワードが得られやすい環境になる可能性が高くなります。



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

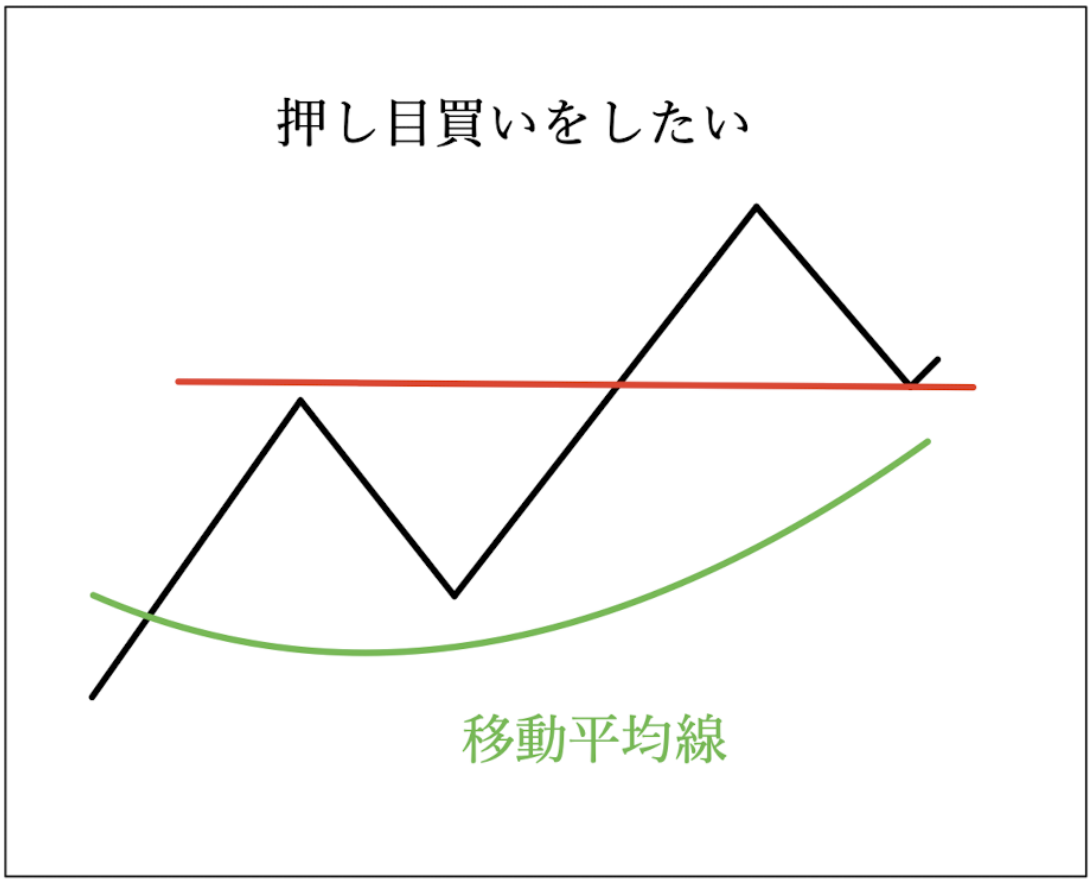
●上位足も押し目買い・戻り売りを狙っている状況

↓↓

先ほどと同様で、4時間足などの**大きな方向が上なら押し目買いしか考えない**ようにするのが基本です。

修正波を狙って売りを考えるのはリスクが高い！という意識を持って下さい！

レジサポ転換や移動平均線に傾きが出ているなど、方向感が出てくれば素直に動く可能性が高くなります。



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

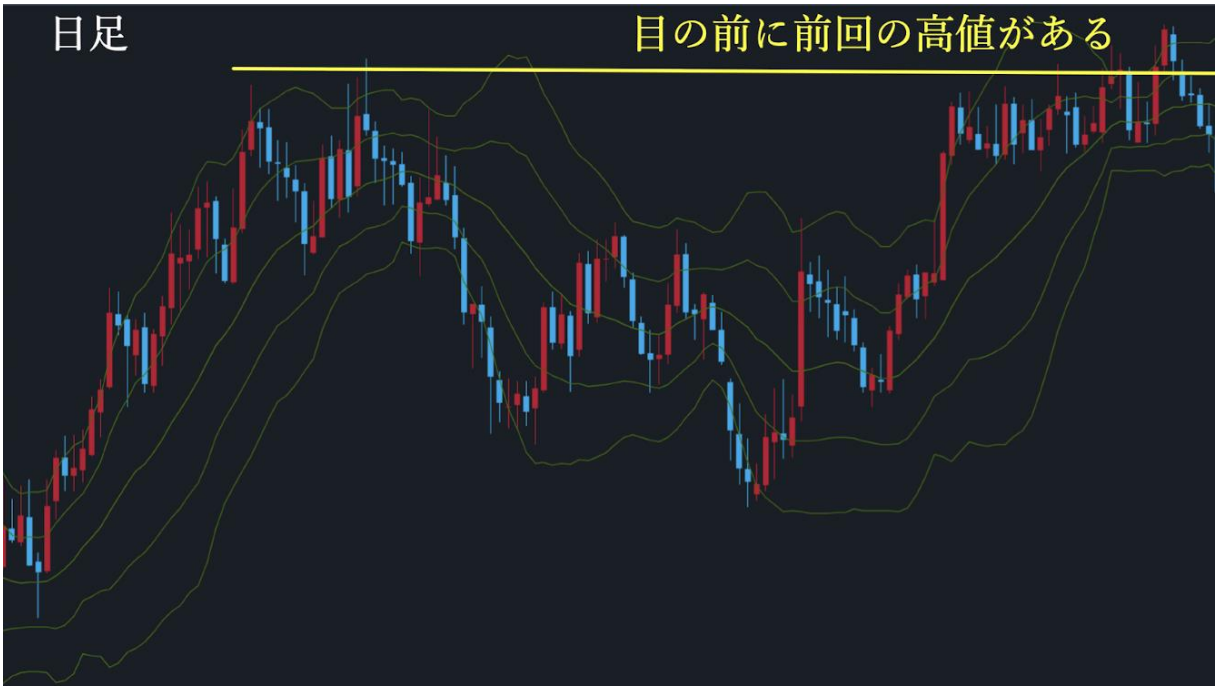
●上位足で売るだけの根拠がない（買いを狙う場合）

↓↓

これは目の前にレジスタンスラインや、サポートラインがあるかどうか？というもので、**日足や４時間足などの大きな壁が目の前にあれば**基本的にはすぐには抜けません。

例えば、**下位足で「ダブルボトム」、「逆ヘッドアンドショルダーズ」などの上へ向かう根拠が出た！！**という時に**目の前に日足や４時間足のレジスタンスラインがある場合**、日足や４時間足のトレーダーたちは買いたい！って思わないですよね？

↓↓



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

逆に、上に抜けてしまった後、**日足や４時間足の目立つレジスタンスラインがない状態で、下位足で「ダブルボトム」、「逆ヘッドアンドショルダーズ」などの上へ向かう根拠が出た場合はどうですか？？**

上位足で売る根拠は特にないですよね？

上位足で売る根拠がなければ、素直に下位足の方向感に乗っていきましょう！

↓↓

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

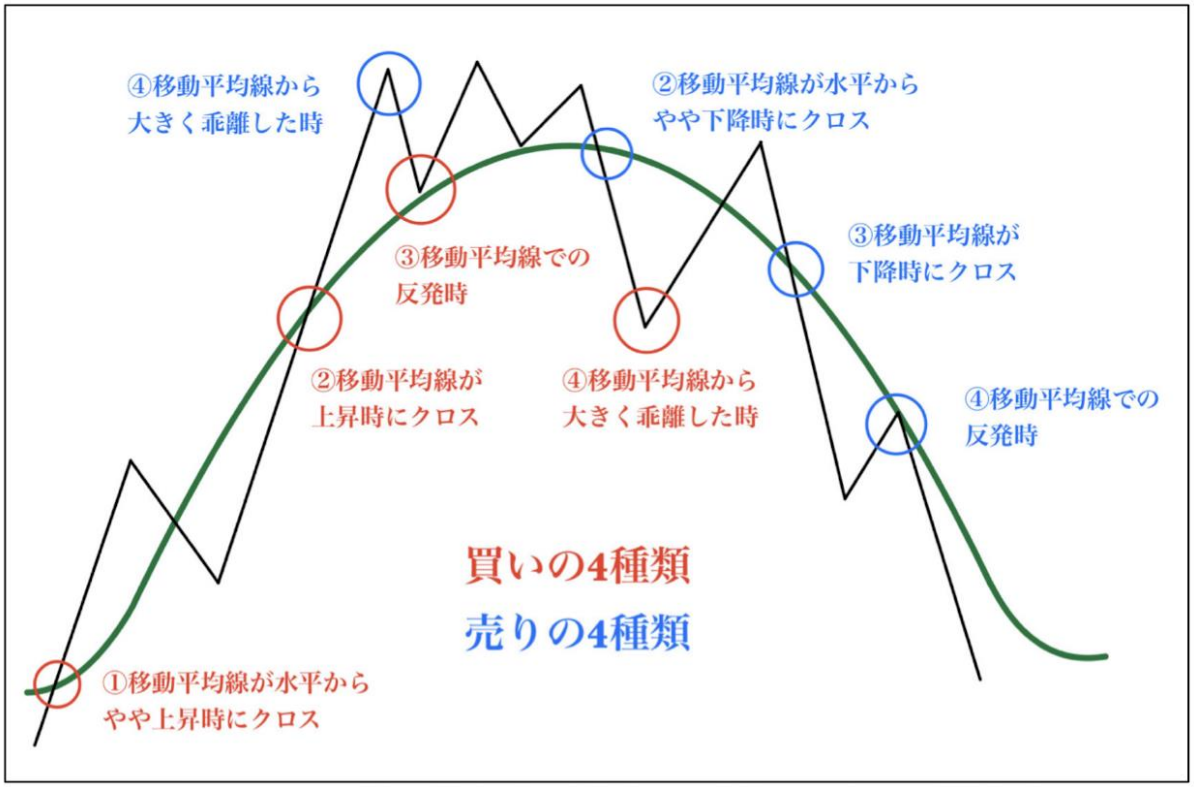
●グランビルの法則に従う

グランビルの法則は知らない人がいないぐらい有名なもので、移動平均線とのクロスがエントリーのタイミングになるというものです。

移動平均線は、その設定期間での損益の分岐点なので、クロスすることで利益を出している人と損失が出ている人のバランスが崩れる所になります。

バランスが崩れるのでエントリーできる可能性のあるタイミングになります。

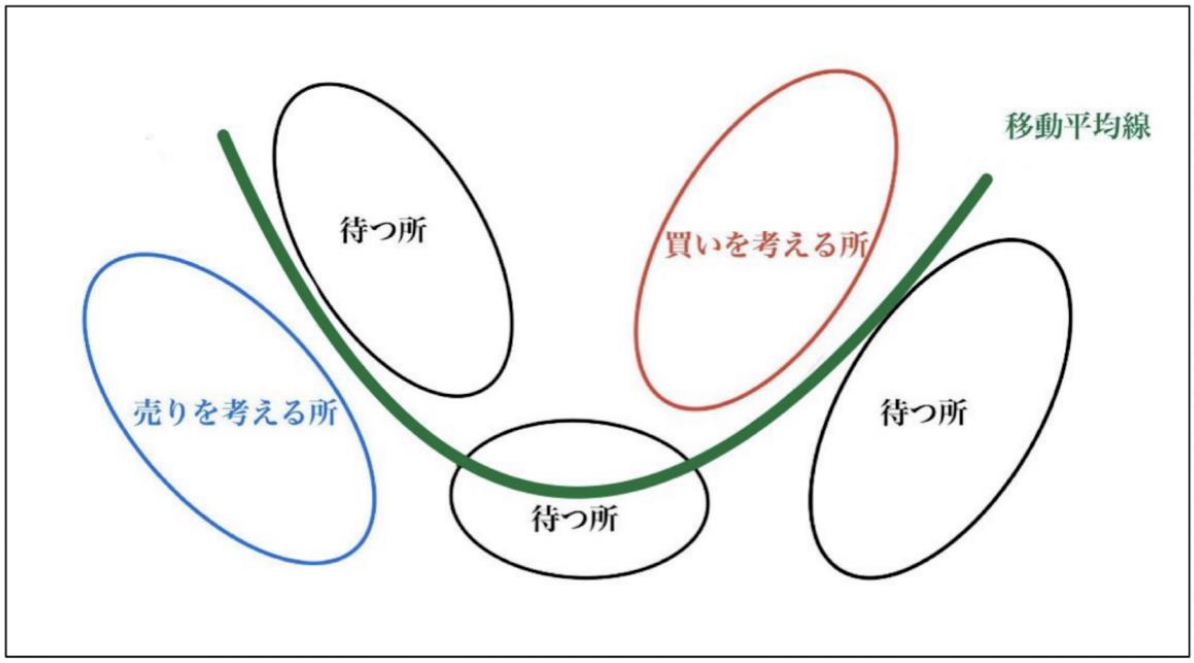
一言でまとめると、移動平均線の向いている方向には逆らわない！！という事です。



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

では、エントリーサインであるグランビルの法則が出た時、より上位足の方向感が同じなら、素直に動く可能性が高まります。

↓↓



この時間で見ると上。でもこの時間では下に見える。じゃあどうすれば分からない！！って考えながらも、

どうにかトレード「出来そう」な場所を探してないですか？

そんな時は無理にトレードせずに、大きな流れと小さな流れが揃うまで焦らず待ちましょう！

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

●上位足に沿っているチャートパターン

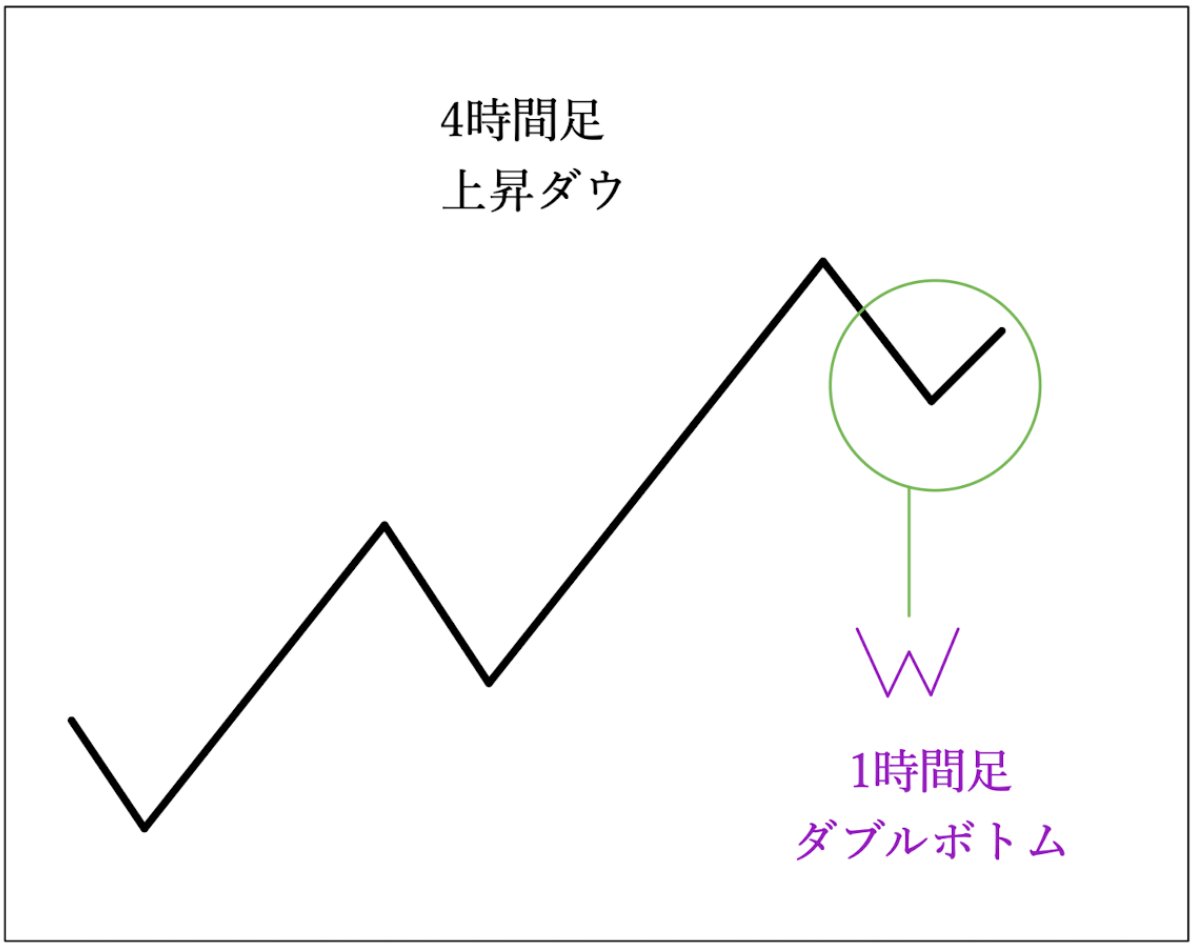
●上位足に沿っているプライスアクション

●ダウの切り替わり

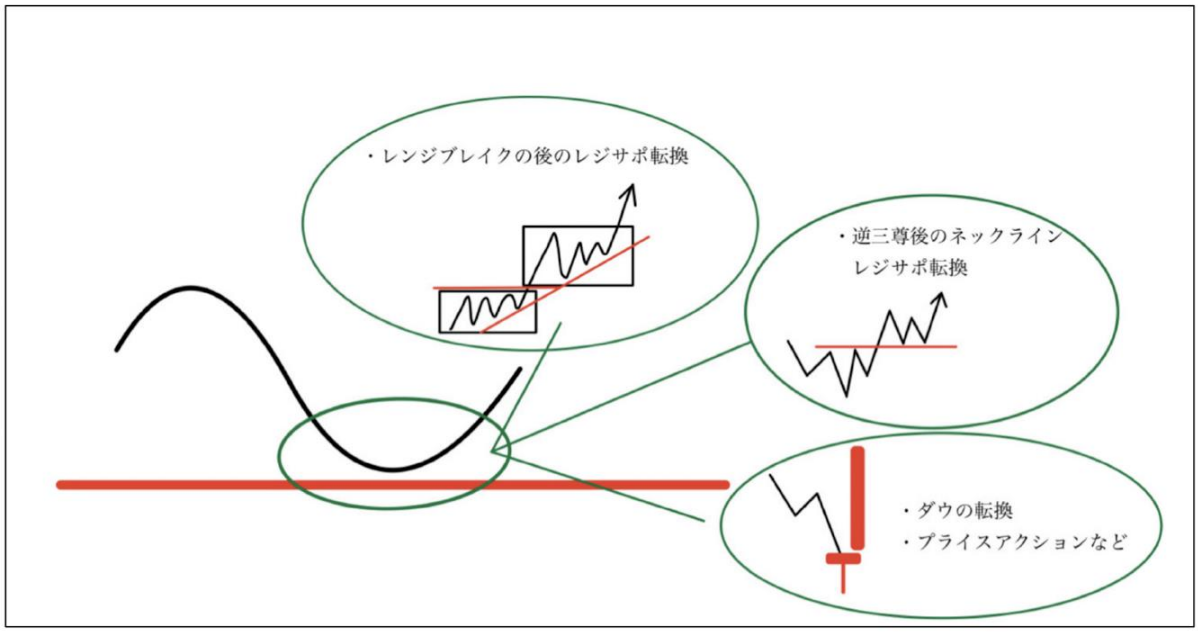
これも先程のグランビルの法則と同じで、**上位足の方向感に沿って、**

同じ方向へ向かう下位足のチャートパターン、プライスアクション、ダウの転換などを狙っていきましょう！という事です。

↓↓



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.



上げだすと他にもたくさんありますが、**何がなんでも大きな流れに絶対に逆らわない**ように徹底して下さいね。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

②逆行しない可能性が高いこと

このポイントは、**「強い意識の壁」を探すこと**です。

逆行しない可能性が高い状況としては、先程の**「上位足で売るだけの根拠がない」**でお伝えしたように

●*上位足のトレンドに沿っている事*

●*上位足のラインによって支えられる事*

●*上位足が押し目買いや戻り売りを考えている事*

●*目の前に日足や４時間足などの目立つ壁がない事*

を絶対に意識して下さい。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

負けている人ほど、

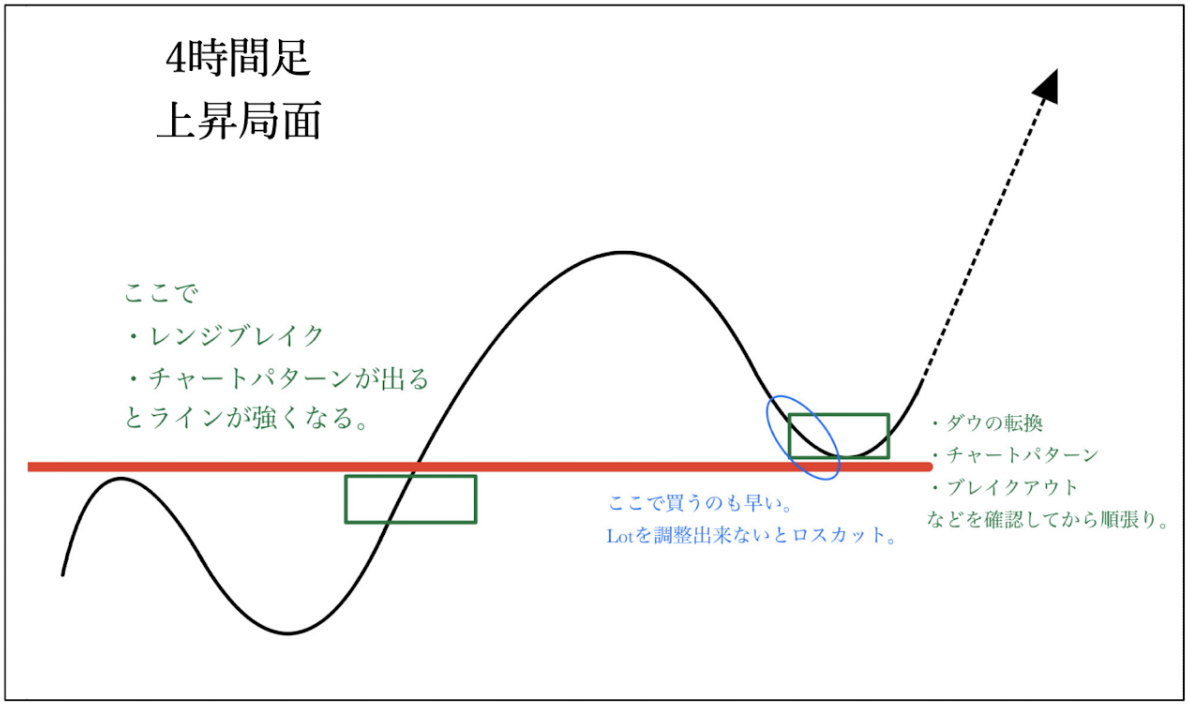
そろそろ反転かな？

このまま抜けるよね？

みたいに見切り発射をします。根拠が曖昧だからこそ勝率も悪くなりがちだし、リスクも大きくなります。

↓↓

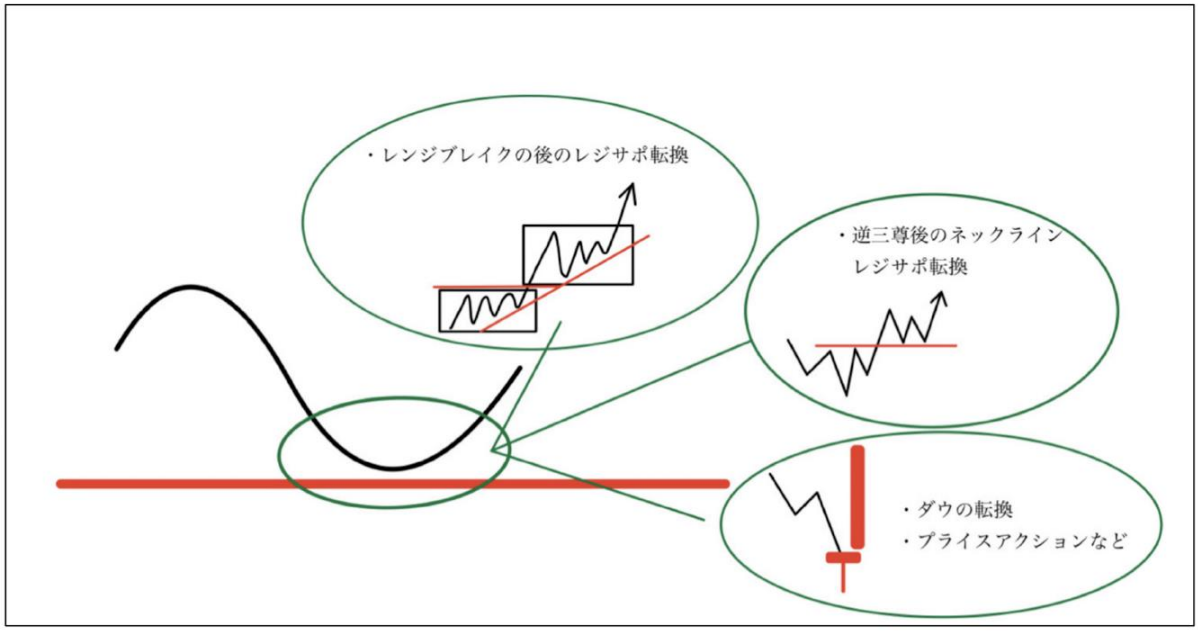
画像のように４時間足で上昇局面の時に、レジサポ転換が起こるはず！！ってラインにタッチする度に買ってないですか？



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

先ほども言ったように、大きな流れに対して下位足の反転の確定を狙うことを徹底しましょう！！

反転が確定してからでも全然遅くないですからね。



どうしても、人間は本質的に、損失は受け入れにくく、利益は残しにくくなります。（プロスペクト理論）

だから、見切り発射をすると損失を出す可能性が高いのに、

損を受け入れられず、含み損がどんどん大きくなりますし、

仮に上手く行ってもその含み益はいつまでも続くものと考えて、

気が付いたら逆行して薄利や損失に変わってしまいます。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

ピンポイントのエントリーをしてピンポイントの決済をできるのがベストですが、相場は先が分からないから**無理**です。

極端な言い方ですが、難しく考えずに、

大きな方向感を見て逆行しない可能性が高いなら、とりあえずｓその方向にポジションを持っておけば利益は出せます。

だからこそ、**大きな方向感が分かっているなら、下位足でも同じ方向へ向かう根拠が確定してからで大丈夫**です。

方向感が一致すれば急激な逆行をする可能性は下がりますからね。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

③損切り幅が小さいこと

損切り幅を狭くするためのポイントは、

「下位足でタイミングを取る」という事です。

これまで、上位足の方向に沿うトレードを徹底しましょう！と何度もお伝えしていますが、損切り幅についても同じです。

4 時間足の方向に沿うトレードをするなら、損切り幅は 1 時間足、15 分足、5 分足などのように、より下位足で設定する必要があります。

・4 時間足の方向にトレードするのに、損切りも 4 時間足で設定したらリスクの部分が大きくなりすぎです。

・1 時間足の方向にトレードするのに、損切りも 1 時間足で設定したらリスクの部分が大きくなりすぎです。

大丈夫ですね？

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

・15 分足で損切りを設定するなら、1 時間足以上の波を狙う必要があります。

・1 時間足で損切りを設定するなら、4 時間足以上の波を狙う必要があります。

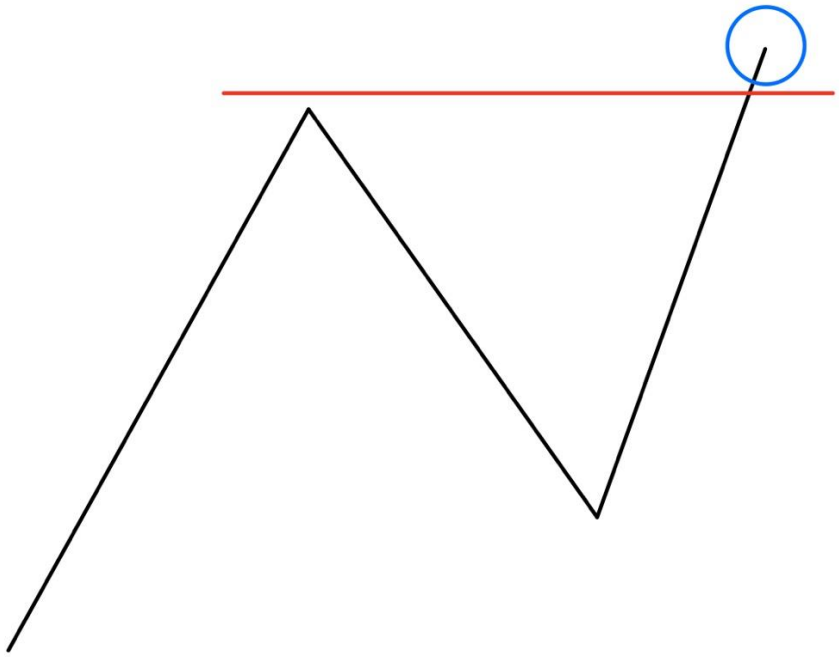
例えば、高値更新における考え方で説明しますね。

上位足の高値更新でエントリーしようとしても、そのまま素直には伸びにくく、**逆行する可能性が高く**なります。

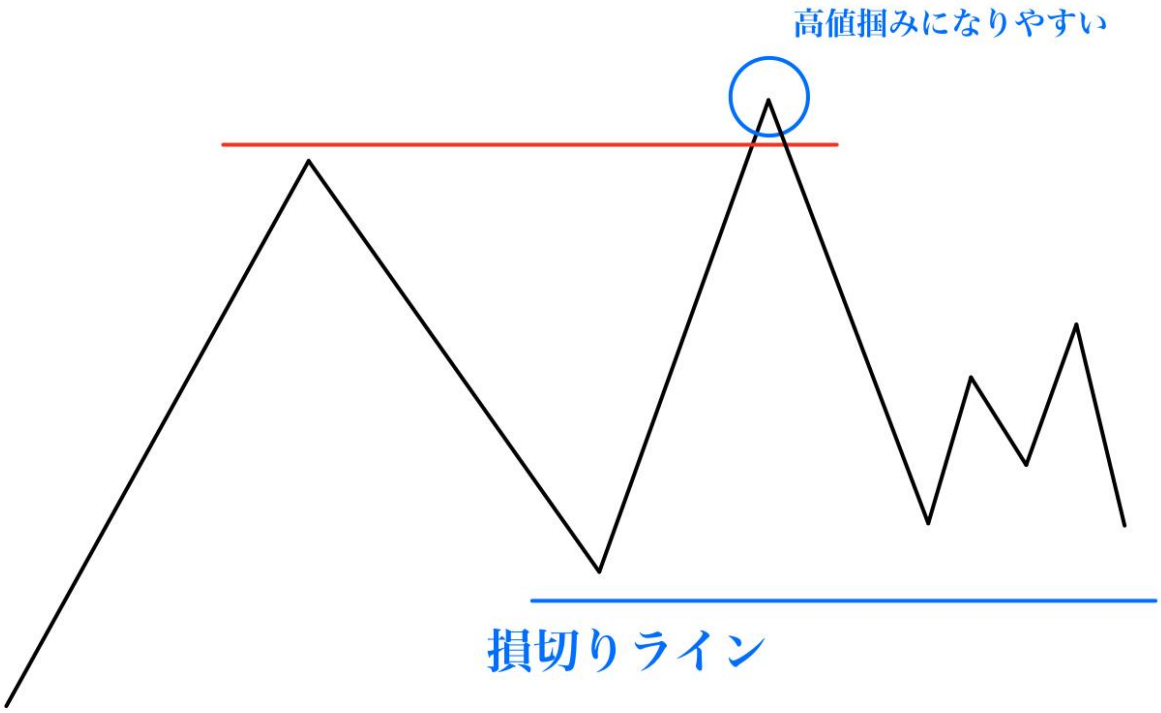
↓↓

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

高値更新におけるエントリー



高値更新におけるエントリー



こんな事になりかねません。じゃあどうするか？

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

「上位足の方向に対して、下位足でタイミングを取る」でしたね？

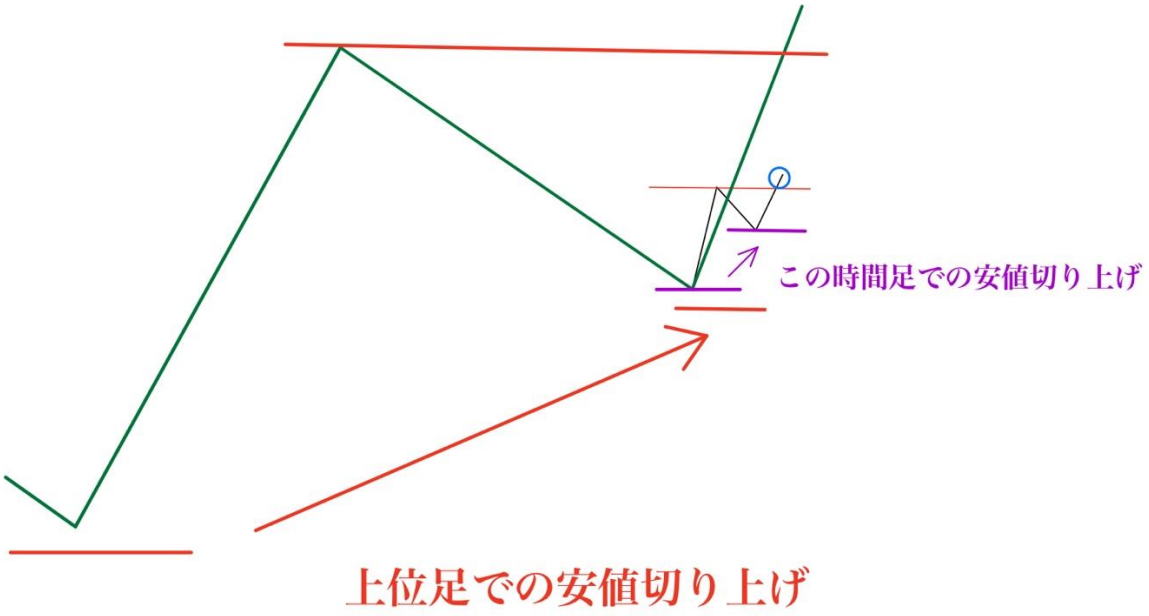
上位足の上昇ダウが継続しているなら、下位足の高値更新を狙って、上位足の高値付近を目指す。

上位足の目線に対して下位足の高値更新が確認できれば、

上位足レベルでの安値切り上げとして認識しやすくなります。

↓↓

上位足の高値更新より早くエントリー出来て
高値掴みになりにくい



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

無理に上位足レベルの大きなトレンドを狙おうとしなくても、きちんと方向感を持って下位足でタイミングを取れれば、

上位足の直近高値付近で利確したとしてもリスクリワードを高める事は可能です。

しかも**方向感が一致している**ので、あわよくば、**このままさらに大きなトレンドに乗ることができる可能性もあります。**

出来そうな気がしませんか？？

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

あれこれ、たくさんの「勝てそう」な方法を全て覚えようとすると難しいですが、

①上位足の方向に沿っていること

②逆行しない可能性が高いこと

③損切り幅が小さいこと

この３つを覚えるだけで鉄板パターンを取れるようになっていきます。

考え方さえ理解すれば問題ありません。

何度も言いますが、

「上位足の方向に沿って下位足でタイミングを取る」

これを徹底していきましょう！！

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

2章　鉄板パターン＆解説

ここまでの話から、

『上位足の方向に沿って根拠の重なりを見ていく』

という意識を絶対に持っていて下さいね。

それでは、ここから鉄板パターンの紹介をしていきます。

まずは準備運動からやっていきましょう！！

めちゃくちゃ王道であるフラッグ、ペナントなどのトレンド継続パターンについて見ていきますね。

基本的な概念としては、**上昇フラッグなどの場合、**

①上昇に対する調整波（短期的な下降トレンド）に下降トレンドラインを引く

②下降トレンドラインを超えたら買う

というものになります。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

これをトレンドラインで当てはめていくと

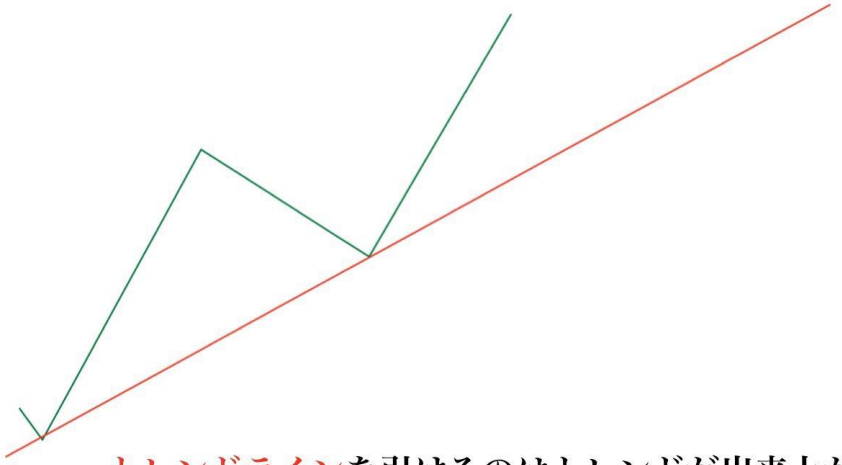
↓↓

まず、安値を切り上げて高値更新をすることで上昇トレンドが確定します。

この時点で上昇トレンドラインを引けるようになります。

↓↓

トレンドラインを使ったトレードの基本



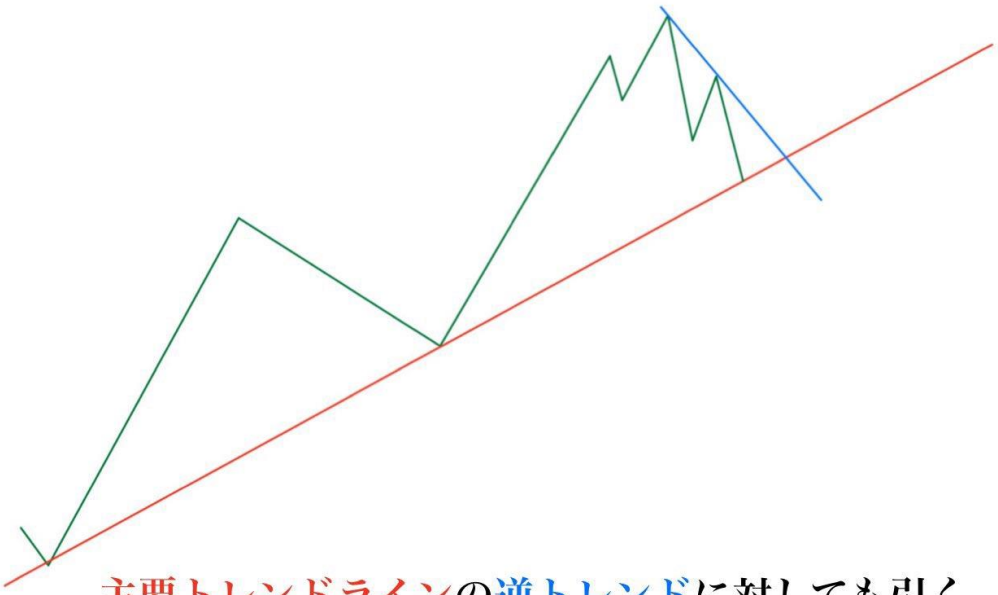
トレンドラインを引けるのはトレンドが出来上がってから。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

その後、短期的な逆トレンド（調整波・修正波）を待って、それに対して下降トレンドラインを引きます。

↓↓

トレンドラインを使ったトレードの基本



主要トレンドラインの逆トレンドに対しても引く。

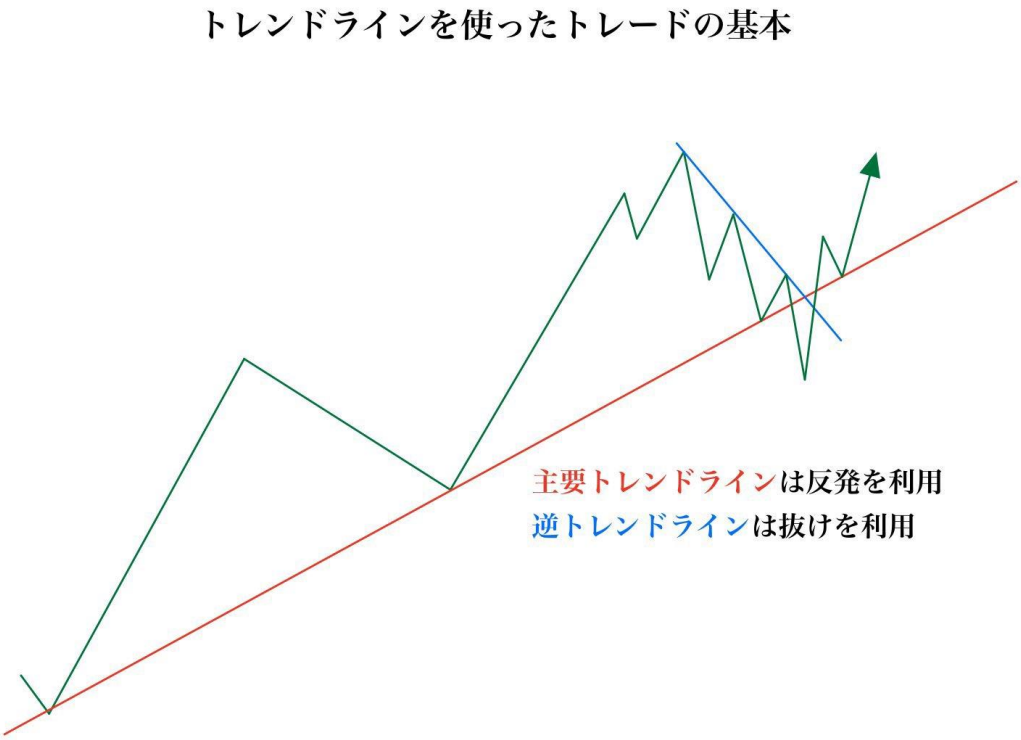
（フラッグやペナントなど、名前が違うのは、この短期的な逆トレンドの形が違うだけです。）

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

続いて、この短期的な逆トレンドが崩れる事で、

本来のトレンド方向への動きが再開する。というものになります。

↓↓



ここまでは問題ないですか？

あくまでも**大きな方向を意識して、反対方向の終わりを狙う。**というパターンです。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

それを意識できると、自然とトレンドフォローができるようになっていきます。

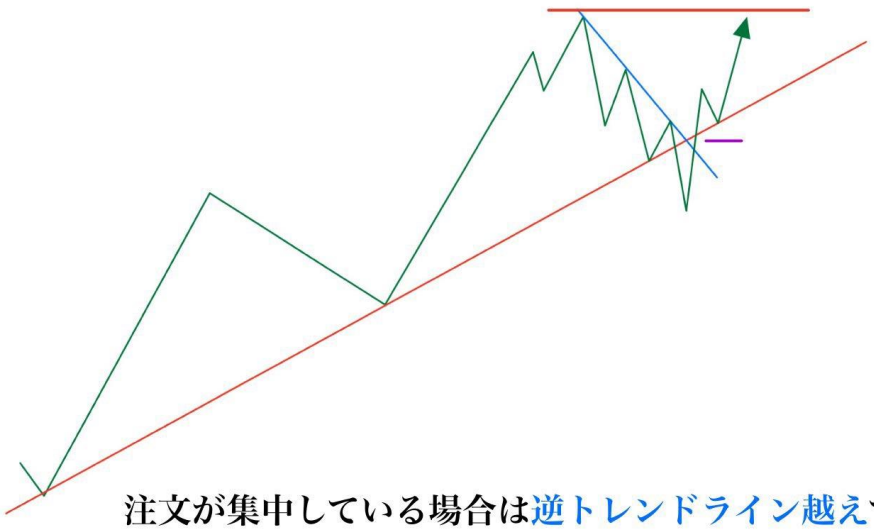
押し目買いや戻り売りが苦手！！分からない！！っていう意識を持たず、

大きな流れを理解して反対方向の動きが見えるまで待ち、反対方向の動きが終われば、改めて大きな流れに乗って狙っていけば大丈夫ですからね。

それが出来ればリスクリワードが改善する可能性が高まります。

↓↓

トレンドラインを使ったトレードの基本

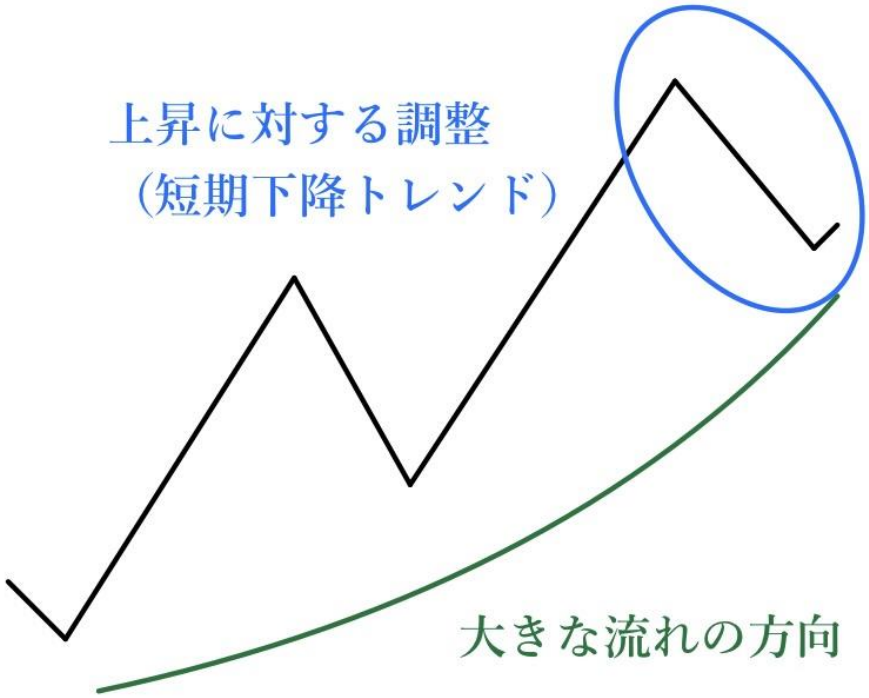


注文が集中している場合は逆トレンドライン越えでトレード。
1波をだけを狙っても利益は残せるしリスクリワードも良い。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

トレンドラインではなく、インジケーターで見ても同じです。

↓↓



何度も言いますが、トレンドフォローの基本的な考え方は、

『大きな流れに対して短期的な反対の動きの終わりを狙う』

です。口に出してこのトレンドフォローの基本を無意識の部分に刷り込んでいきましょう！！

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

なんとなく形としては知っていたり、すでに分かっているとしても実戦で使って勝てていますか？

●大きな流れも間違えていない

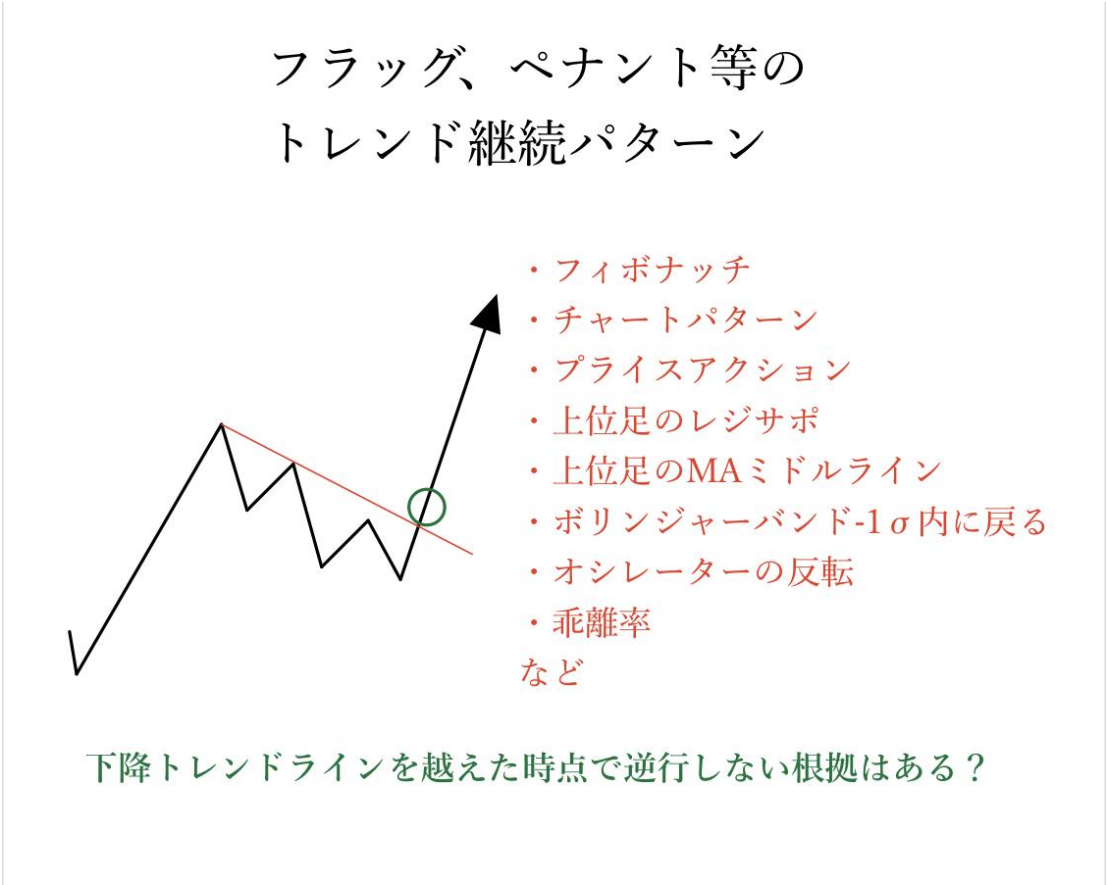
●短期的な逆方向の終了を意識できている

でもいざやってみると負ける……

正直、これだけでは根拠としてはまだまだ弱いです。

先ほどのトレンド継続パターンが見えた時に、”他の逆行しない根拠”は見えていますか？

↓↓



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

なんとなく分かるけど、まだいまいちピンと来ないかと思います。

ここからはより具体的な例を見ていきます。

順を追って解説していきますが、一気に読み進めずに、あなた自身でも考えながら読んで下さいね。

鉄板パターンの意味を考えていく為には、

●ダウ理論

●ダウ理論による目線

●水平線

●チャートパターン

●プライスアクション

●マルチタイムフレーム分析

●注文の集中

が必須です。裁量のススメで学べるので何度も読んで必ず理解を深めて下さいね。Twitter、ブログもご参考下さいね。

では行きます！

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

パターン①レジサポ転換

●4 時間足の◯で囲んだ部分のダウ理論による目線は？上？下？

↓↓

考えました？

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

直近の高値を越えていて、

これまでの流れが下だったとしても◯**の時点**では戻り高値越えで上目線に切り替わっている。

これまでの流れが上だったなら、直近高値を更新し◯**の時点**では上目線が継続中。

という状況になります。ここまでは大丈夫ですね？

（ダウ理論による目線の付け方が分からないなら、押し安値・戻り高値の概念をきっちり腑に落としておいて下さい。ダウ理論による目線の付け方はこちらをチェック）

改めて、先ほどの４時間足の◯**で囲んだ部分**では上目線ですね？

ではその時のインジケーターの向きはどうなっていますか？

これも**右上に傾き**が出ています。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

つまり、

①　4時間足でダウ理論による目線は上

②　インジケーターによる方向感・勢いも上

この時点で方向感が出ている状態なので、レジサポ転換も機能する確率が高くなっている状態です。

勢いの部分はインジケーターの角度、オシレーターの過熱感、乖離率などを見て、現在のローソク足の位置とインジケーターとの離れ具合よく観察して下さいね。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

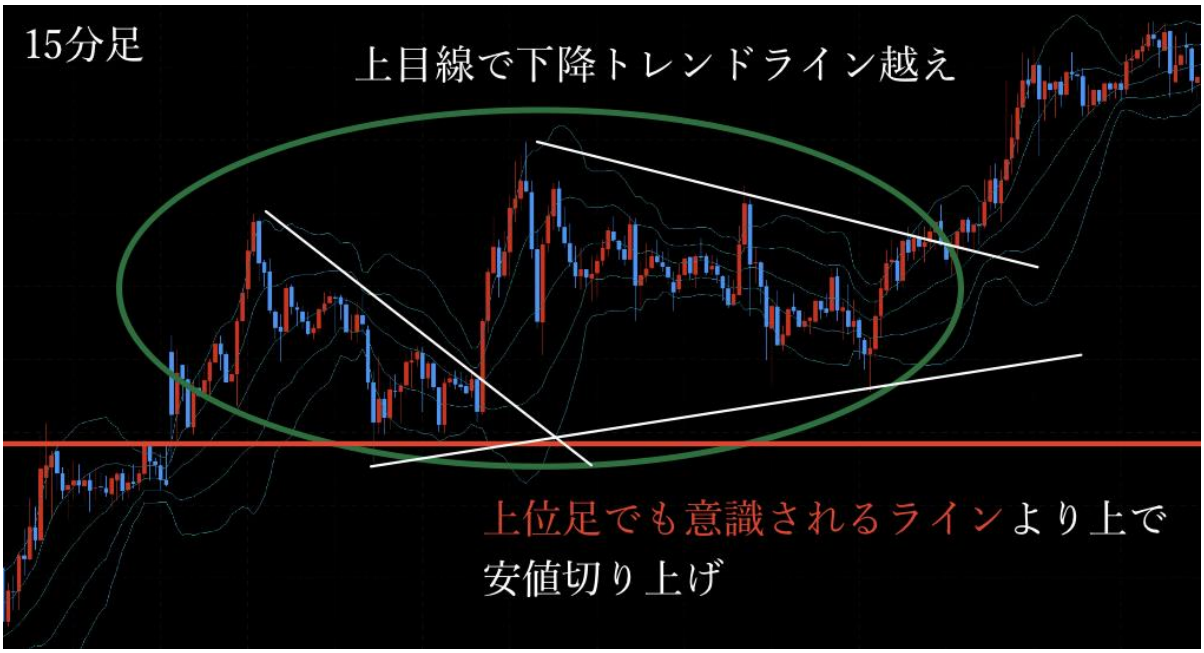
この状態でさらに下位足に落とし込んで見ていきます。

↓↓

4時間足の◯の部分を1時間足で見ると、三角持ち合い上抜け。

続いて15分足で見ると押し安値を割らずに下降トレンドライン越え。

↓↓



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

4時間足のレジサポラインより上で推移している状態で、

下降トレンドライン越えが起こると、フラッグやペナントなどのトレンド継続パターンとして認識されやすいですが、

それだけではなく、今回はレンジブレイク・ダブルボトム・トリプルボトムなどの上へ向かう根拠が見えることでよりレジサポラインとして強く意識されていると捉えるようにしてみて下さい。

↓↓

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

これらをまとめていくと、

① 4時間足の目線は上。

② インジケーターの傾きは上。

③ 15分足で4時間足の前回高値ラインより上でレンジブレイク・ダブルボトム・トリプルボトムなど上へ向かうパターンによってレジサポ転換したと考えられる。

④ フラッグ・ペナントなどのトレンド継続パターンの出現

⑤ 2度目の下降トレンドライン越えの時に安値を切り上げている。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

⑥ その認識の影響で１時間足での下降トレンドライン越えによる２度目の三角持ち合いがより意識されやすくなる。

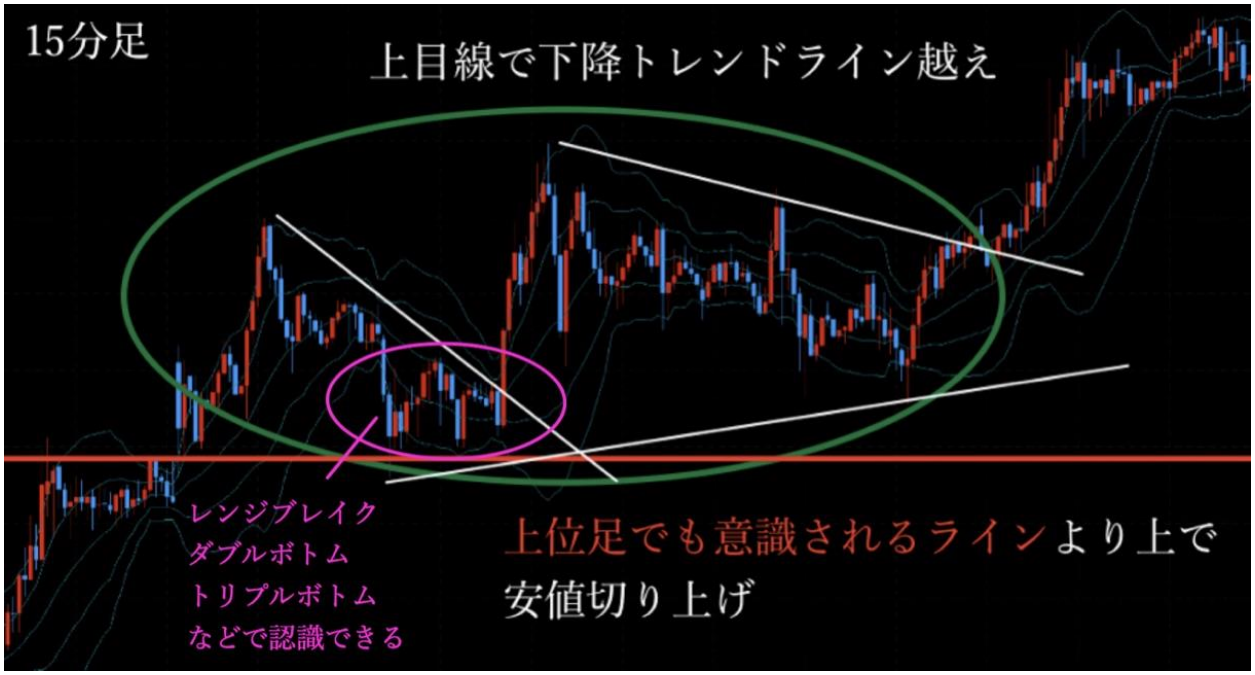
⑦4 時間足では上方向へのレンジブレイクになり上位足レベルで上が意識される可能性が高くなる。

↓↓

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

⑧　15分足でも２度目の下降トレンドライン越えで三角持ち合い上抜け。

↓↓



Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

など、**どの時間足で見ても**、その根拠で

『上へ向かう』

という共通の認識が重なっています。

なので、本物になる可能性が高まっていきます。

くれぐれも、

上昇局面で短期的な下降トレンドラインを越えたから買う。なんていう浅はかな考えは捨てましょう。

上昇局面で短期的な下降トレンドラインを越えた時、

●より上位足ではどう見える？

●より下位足ではどう見える？

●逆行しないだけの根拠がある？

これらを常に考える習慣をつけていきましょうね。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.

この続きの

パターン②チャートパターン

パターン③レンジブレイク

パターン④中段持ち合い

パターン⑤トレンド転換

3章　鉄板パターンまとめ

4章　トレード精度を高める考え方

5章　全体のまとめ

まで読みたいなら、

フルバージョンで。

Copyright © ベーシスト FX手法研究家が教える手法の正しい弾き方 All Rights Reserved.